

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

35,000

排水処理施設
(有害物質含まない)
" 含む

No. 6 地点
GL-0.43m (GH=98.07m)

20,000

10,000

倉庫

19,000

5,000

飼動物
施設

10,000

動物
実験
施設

13,000

10,000

廃液貯蔵
施設

20,000

No. 4 地点
GL-0.24m (GH=98.26m)

60,000

No. 3 地点
GL-0.37m (GH=98.13m)

本 依
(RC~4F)

35,000

15,000

車庫

5,000

No. 7 地点
GL+0.26m (GH=98.76m)

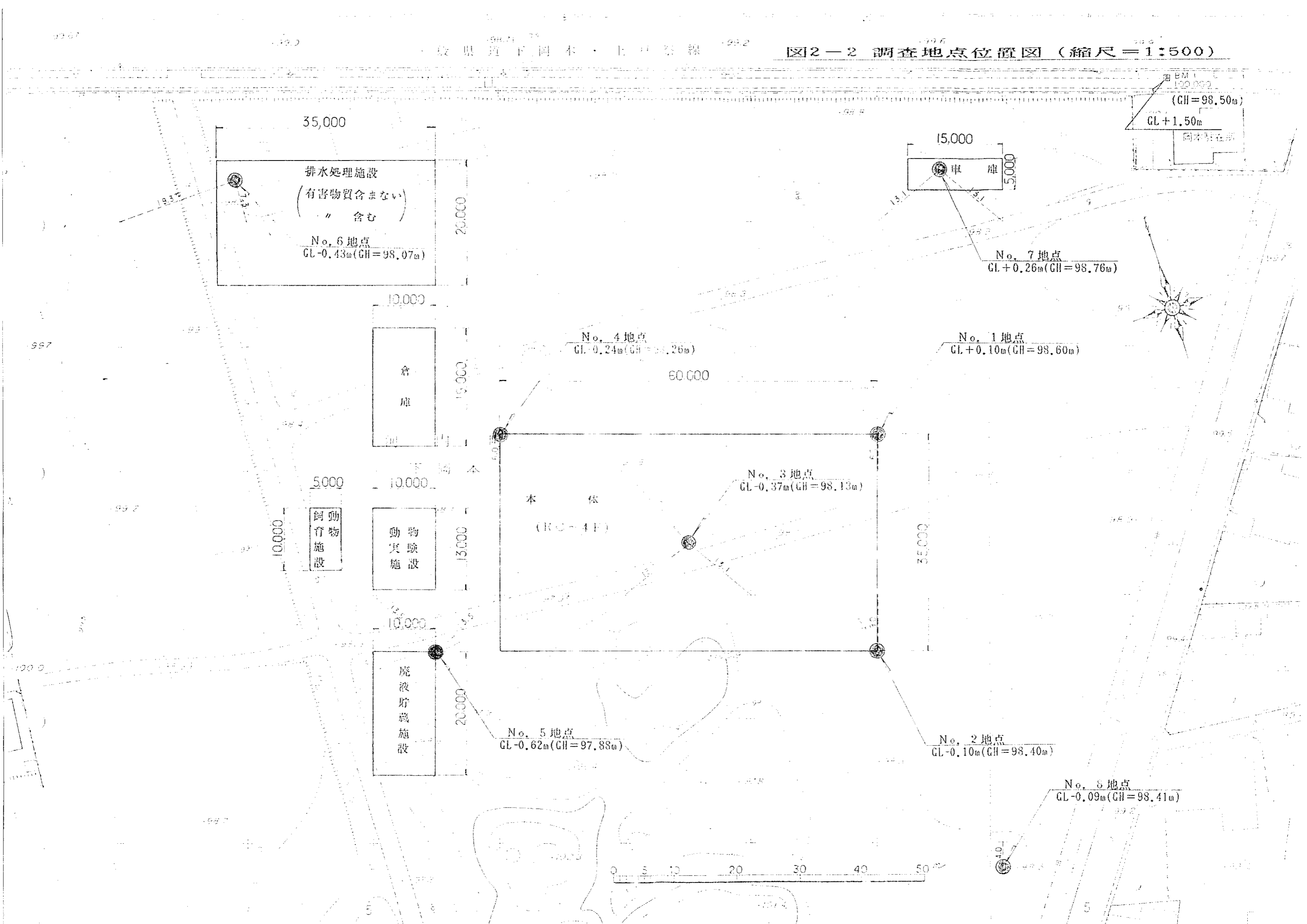
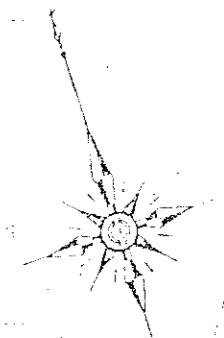
No. 1 地点
GL+0.10m (GH=98.60m)

No. 5 地点
GL-0.62m (GH=97.88m)

No. 2 地点
GL-0.10m (GH=98.40m)

No. 8 地点
GL-0.09m (GH=98.41m)

BM
100.000
(GH=98.50m)
GL+1.50m
岡本駐在所



土質柱状図

報告用紙

調査名 栃木県衛生環境センター(仮称)新築地質調査

調査年月日 4年3月2日

調査地点 河内郡河内町大字下町本字金井久保

標高 99.60m

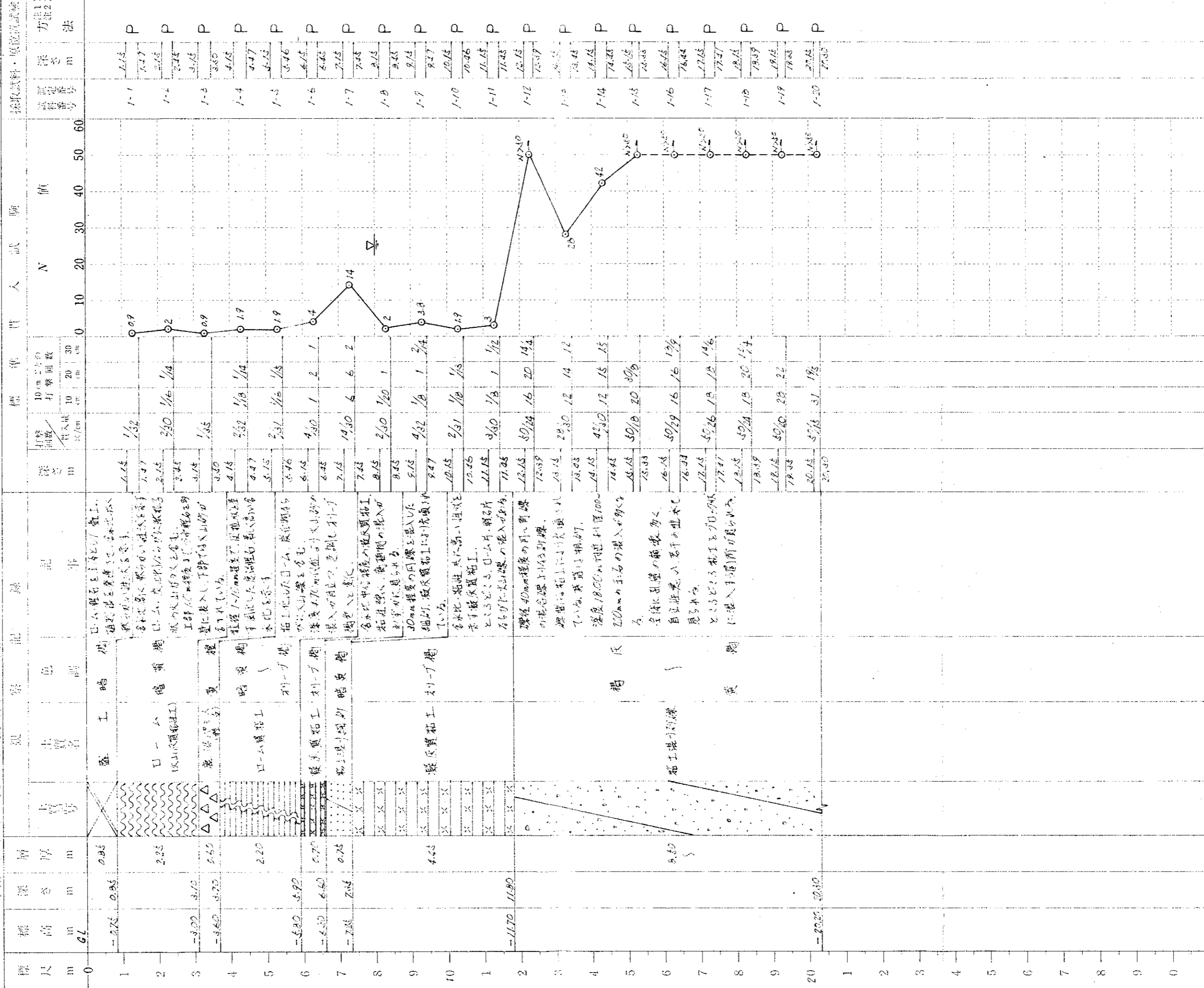
4年3月10日

ボーリング孔: No. 1

機種 KR-100

孔内水位(自然, 地) 8.00m

調査責任者



注1) 試料採取方法の記号

T: シンワールサンフラー F: フォイエルサンフラー
 P: 標準貫入試験用サンフラー O: オーク
 D: デニソンサンフラー

注2) 原位置試験方法の記号

備考

土質柱状図 報告用紙

調査名 栃木県衛生環境センター(仮称)新築地質調査

調査年月日 4年3月17日

調査地点 河内郡河内町大字下岡本字金井ノ原

標高 64-0.10 m

調査者 4年3月19日

ボーリング孔: No. 2

機種 KR-100

孔内水深(自然) 2.10 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質名	観察	記録	深さ m	打撃回数	標準貫入試験値 N	採取試料・原位置試験	方法
0	GL										
1	-1.35	1.25	1.25	粘土	暗褐色	上部100mm程度の玉石混入あり。全体にローム層が認められ。腐植土が認められ。盤上状を呈す。	1.15	2/30	02	2-1	P
2		1.25	2.25	ローム(火山灰質粘土)	暗黄褐色	含水量高く軟らかい。上部10cm程度、角形パースを認め、下部で火山灰の混入が認められる。	1.45	2/30	02	2-2	P
3	-3.60	3.30	0.85	鹿沼パース	黄褐色	含水量高く軟らかい。粗粒径1.0mm程度で、角質の塊状固形物を認め、下部で火山灰の混入が認められる。	2.05	3/30	03	2-3	P
4	-4.45	4.35	1.55	ローム質粘土	灰褐色	含水量高く軟らかい。粗粒径1.0mm程度で、角質の塊状固形物を認め、下部で火山灰の混入が認められる。	3.45	4/30	04	2-4	P
5	-6.00	5.90	1.45	凝灰質粘土	灰褐色	含水量高く軟らかい。粗粒径1.0mm程度で、角質の塊状固形物を認め、下部で火山灰の混入が認められる。	4.45	5/30	05	2-5	P
6	-7.45	7.35	1.05	粘土質砂	暗緑褐色	粗粒径1.0mm程度で、角質の塊状固形物を認め、下部で火山灰の混入が認められる。	5.45	3/30	03	2-6	P
7	-8.60	8.40					6.45	5/30	05	2-7	P
8							7.45	7/30	07	2-8	P
9							8.45	6/30	06	2-9	P
10							9.45	2/30	02	2-10	P
1	-12.00	11.90	0.65	粘土混り砂	褐色	粗粒径最大40mm程度で、同程度の混合砂が認められる。上部は砂の割合が高い。砂層の粘土に由来する。砂層の粘土に由来する。	10.45	2/30	02	2-11	P
2	-12.65	12.65					11.45	2/30	02	2-12	P
3							11.45	3/30	03		
4							12.45	11/13	11		
5							11.45	1/12	1		
6							12.45	3/11	3		
7											
8											
9											
0											
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
0											

注1) 試料採取方法の記号

T: シンクローサーサンプリング F: フォイエルサンプリング
P: 標準貫入試験用サンプリング O: オーガー
D: デュロメーターサンプリング

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 栃木県衛生環境センター(仮称)新築地質調査

調査年月日 4年3月2日

調査地点 河内郡河内町大守下岡本字金井久保

標高 92.13m
GL-0.37 m

4年3月4日

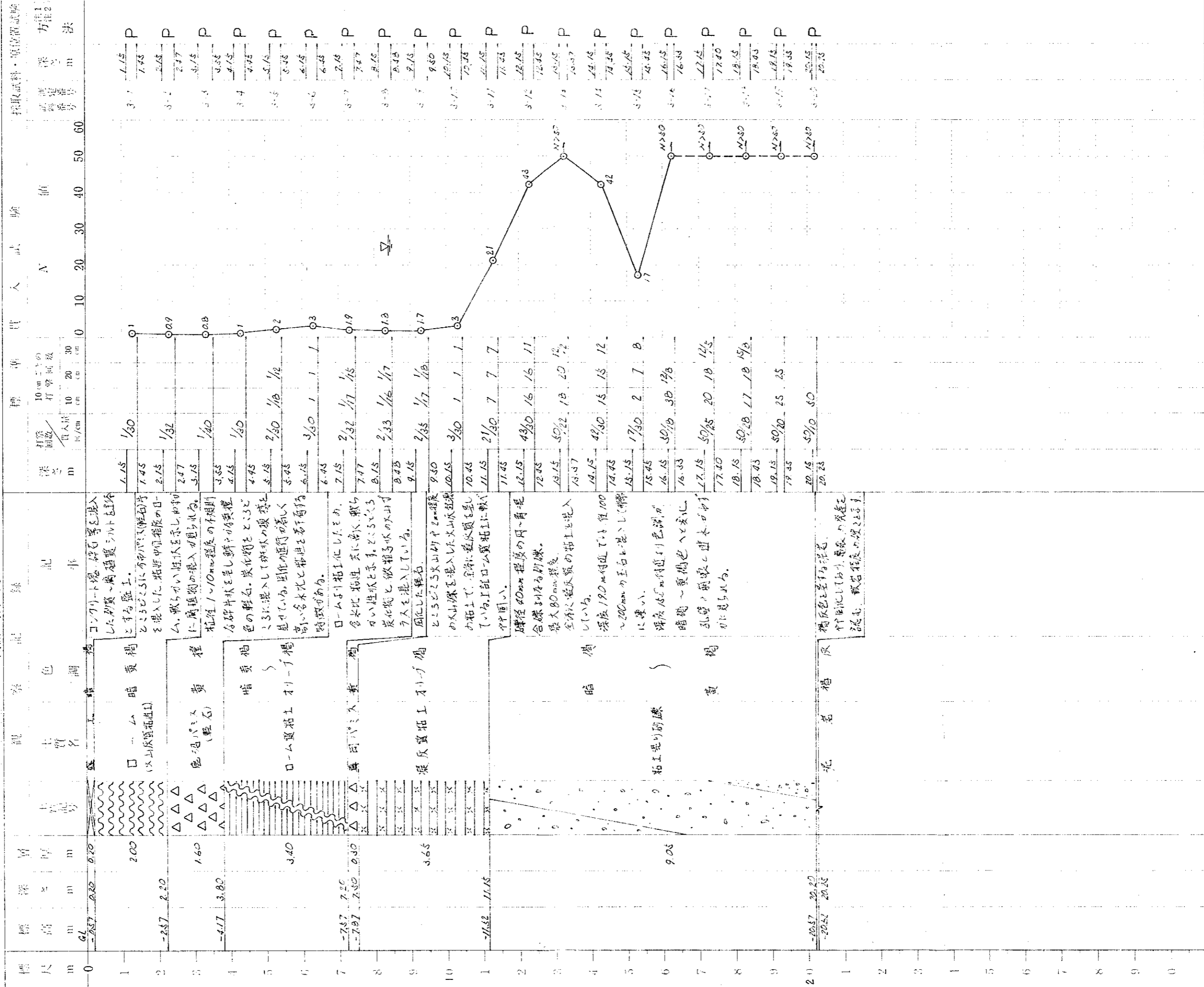
ボーリング孔: No. 3

機種 KR-100

孔内水位: 自然, 泥

貫入 940 m

調査責任者



備考

注1: 試料採取方法の記号

T: シンクローラー
P: 標準貫入試験用サンワウ
D: デモソクサンワウ

注2: 原位置試験方法の記号

調査名称 不衛生環境センター(仮称)新築地盤調査
調査地点 河内郡河内町大字下岡本字金井久保

調査年月日 4年3月10日
標高 98.26m
GL-0.24 m

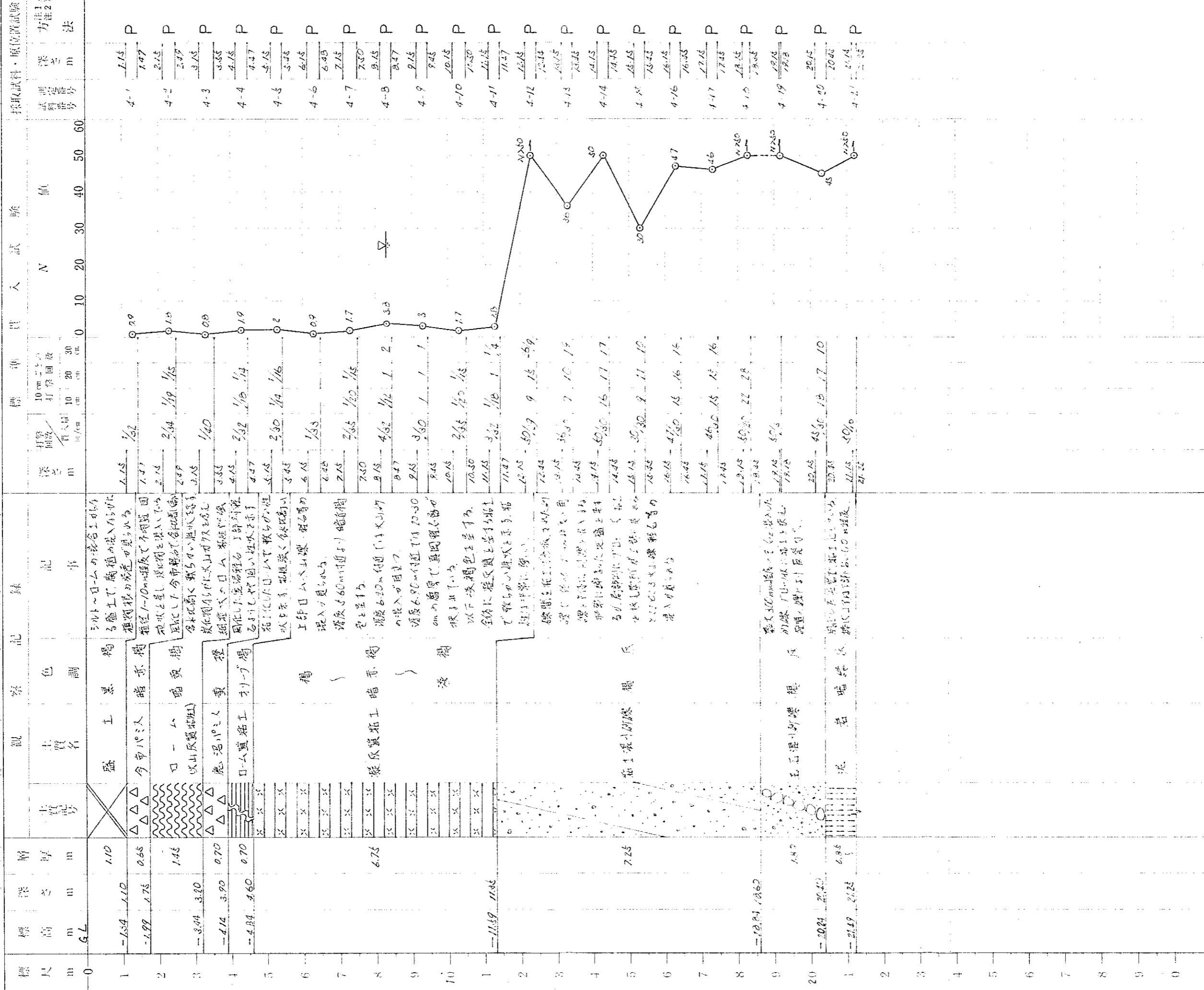
ボーリング孔: No. 4

機種 KR-100

孔内水位(自然, 港)

貫入試験 3.30 m

調査責任者



注1) 試験採取方法の記号

T: シンワ型サンフラー F: フォイルサンフラー
P: 標準貫入試験用サンフラー O: オーク
D: デニソン型サンフラー

備考

注2) 原位置試験方法の記号

調査名称 栃木県衛生環境センター(飯沼)新築地質調査

調査年月日 平成4年 3月 3日

調査地点 河内郡河内町大字下岡不守金井久保

標高 97.88m

平成4年 3月 3日

ボーリング孔: No. 5

機種 KR-100

北内水位自然差 5.70m

調査責任者

標尺 m	深度 m	土質名	観察色調	観察記述	標準貫入試験			採取試料・原位置試験 試料番号	深度 m	方法
					10cm打撃回数	N	値			
0	-1.22	0.60	0.60	砂	砂を混入したローム系土	0	0	5-1	1.15	P
1	-1.22	0.60	0.60	暗赤褐色	上部より砂を混入	0	0	5-2	1.45	P
2	-2.32	2.30	2.30	暗赤褐色	腐植質を混入が見られる	0	0	5-3	2.15	P
3	-4.02	3.40	0.60	暗赤褐色	赤土質土質	0	0	5-4	2.45	P
4	-4.02	2.20	2.20	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-5	2.45	P
5	-4.02	5.30	5.30	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-6	2.45	P
6	-5.32	5.20	5.20	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-7	2.45	P
7	-5.32	5.20	5.20	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-8	2.45	P
8	-5.32	5.20	5.20	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-9	2.45	P
9	-5.32	5.20	5.20	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-10	2.45	P
10	-5.32	5.20	5.20	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-11	2.45	P
1	-11.12	11.50	11.50	暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-12	2.45	P
2				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-13	2.45	P
3				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-14	2.45	P
4				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-15	2.45	P
5				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-16	2.45	P
6				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-17	2.45	P
7				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-18	2.45	P
8				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-19	2.45	P
9				暗赤褐色	成化土を混入した暗赤土	0	0	5-20	2.45	P
20	-20.32	20.20	20.20	泥	泥	0	0	5-21	2.45	P
1	-21.72	21.08	21.08	泥	泥	0	0	5-22	2.45	P

備考

注1) 試験採取方法の記号

- T: シンクワン型サンフラー
- F: フィールドサンフラー
- P: 標準貫入試験用サンフラー
- O: オナーザ...
- D: デニソン型サンフラー

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図 報告用紙

調査名 栃木県宇都宮市下園本町大宮(仮称)新築地調査

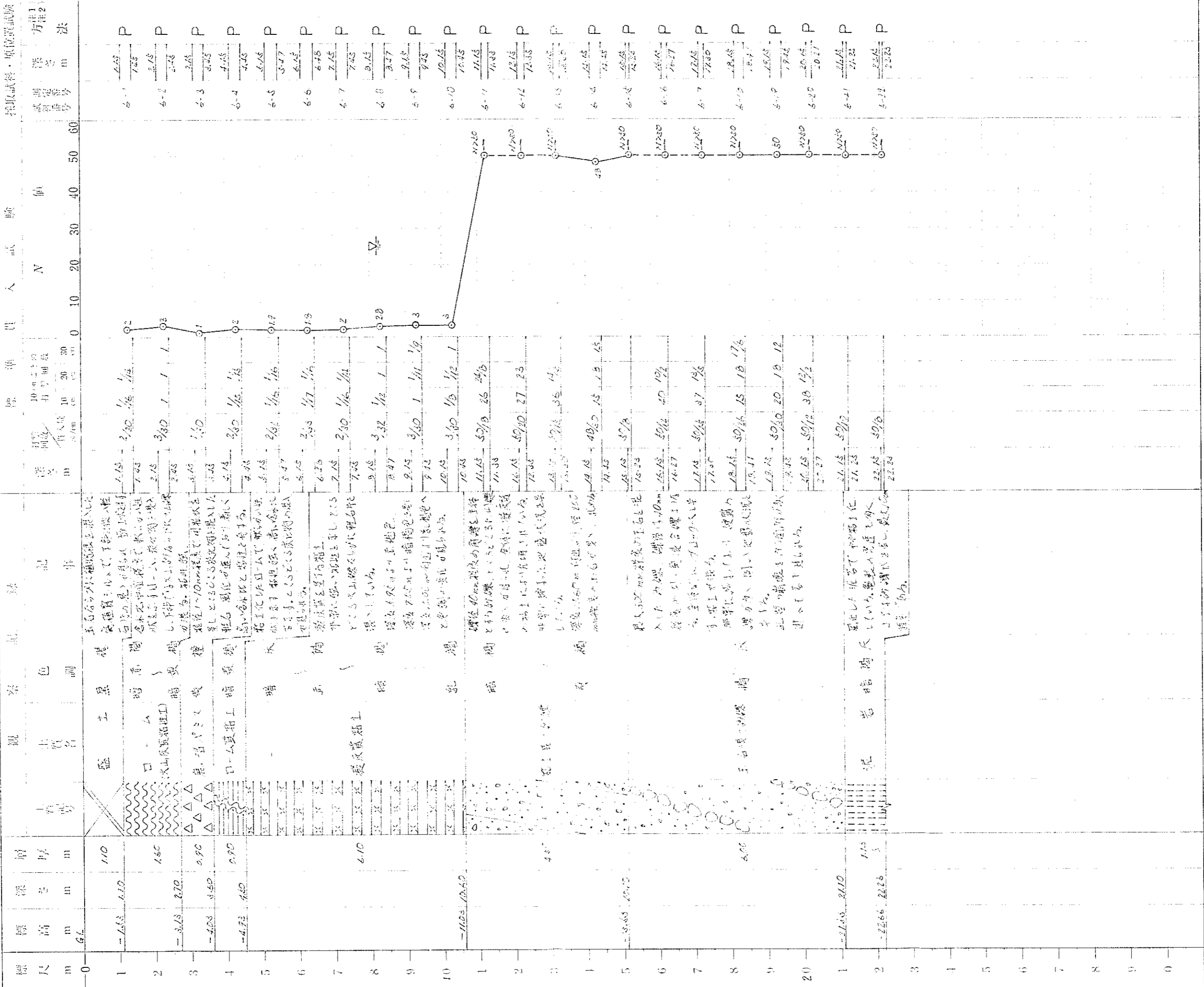
調査年月日 4年 3月 5日

調査地点 河内郡河内町大宮下園本町

標高 m 98.07m
GL-043

調査責任者

ボーリング孔: No. 6 機種 KR-10D 孔内水位(自然水位) 2.20 m



備考 注1) 試料採取方法の記号 T: シンクローサルアラ F: フォイエルサラアラ P: 標準貫入試験用サラアラ O: オーガー D: デニソン型サラアラ 注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 栃木県衛生環境センター(仮称)新築化質調査

調査年月日 4年5月15日

調査地点 河内野内町式守下岡不習倉井久保

標高 98.76m
G.L. + 0.26 m

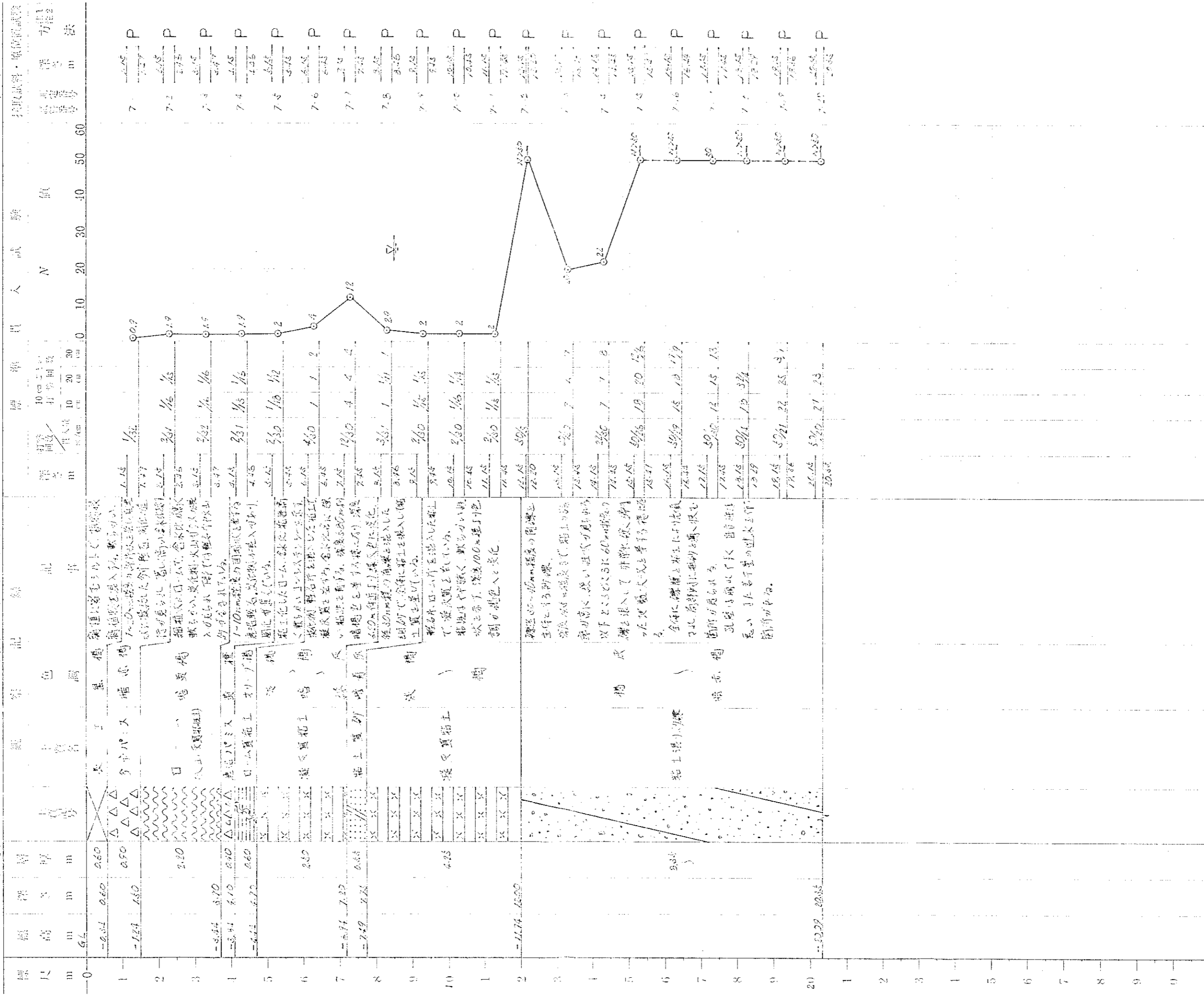
4年3月14日

ボーリング孔: No. 7

機種 KR-100

孔内水位(自然湛) 0.60 m

調査責任者



注1) 試験採取方法の記号

T: シンクワイールサンデングラフ F: フォトリソグラフィ
P: 標準貫入試験用サンデングラフ O: サマングラフ
D: デモニオンサンデングラフ

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 朽不鼻衛生環境センター(仮称)新築地質調査

調査年月日 4年3月16日

調査地点 河内郡河内町大字下岡本字金井ノ保

標高 98.41m

4年3月18日

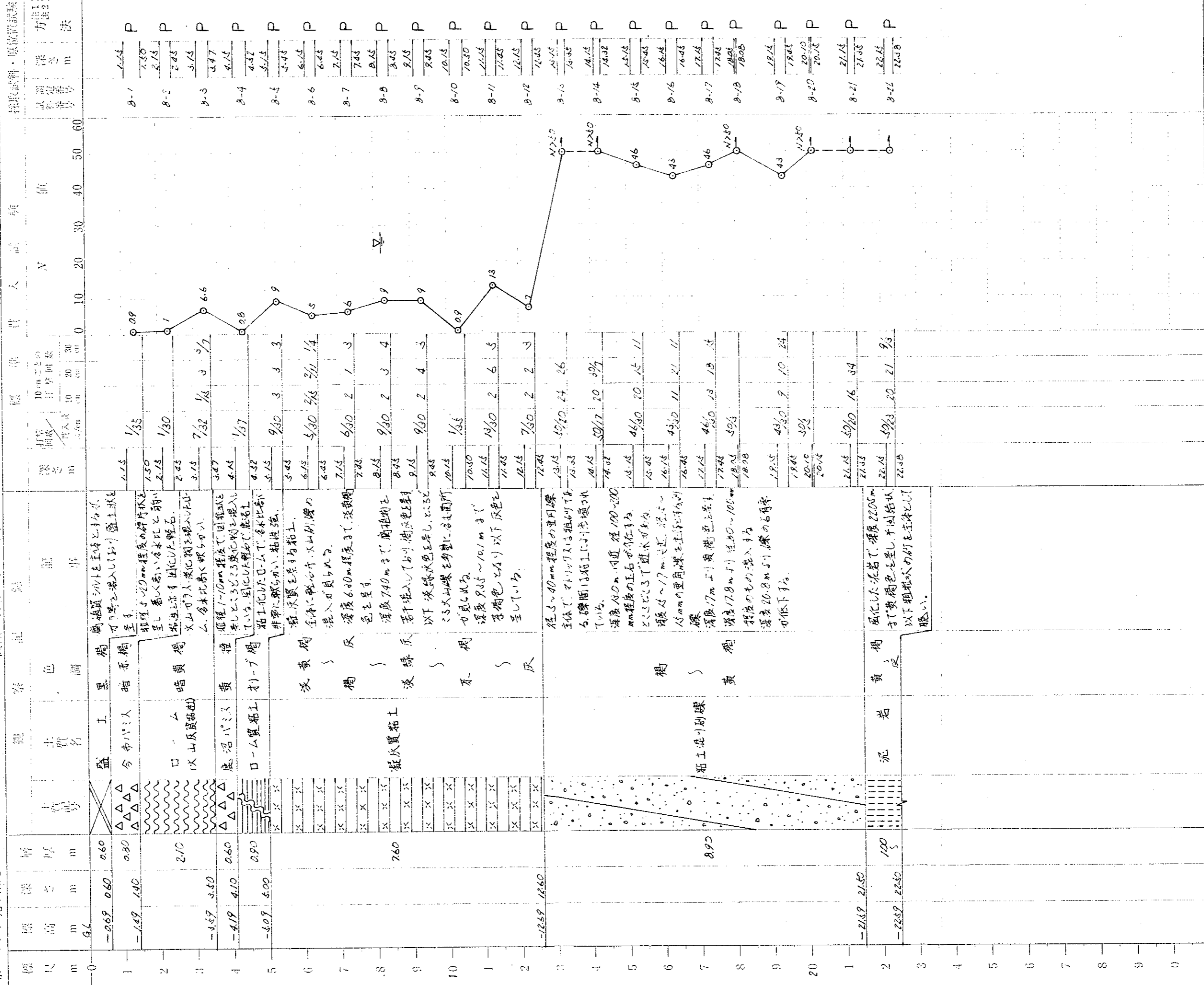
ボーリング孔: No. 8

機種 KR-100

調査責任者

8.20

北内水産(自営) 井



備考 図1) 試料採取方法の記号 T: シンワールサンフラー F: フォイルサンフラー P: 標準貫入試験用サンフラー O: サーマー D: テレメトリックサンフラー 図2) 原位置試験方法の記号